

市政担当記者各位

市営渡船における バイオ燃料導入の実証実験を開始します

博多港では、港湾の脱炭素化を促進するカーボンニュートラルポートの形成を推進しており、この取組みの一環として、市営渡船において、**8月13日からバイオ燃料導入の実証実験を開始**しますので、お知らせいたします。

この取組みにより、市有船舶から排出されるCO2の削減を図るとともに、博多港におけるバイオ燃料の普及促進を図っていきます。

1. 実証実験に使用する船舶

博多ふ頭～西戸崎・志賀島を航行する市営渡船「きんいん」にバイオ燃料を使用して実証実験を行います。



[総トン数] 19トン
[全長] 約20m
[旅客定員] 85名

バイオ燃料とは、
バイオマス（生物資源）を原料とする燃料のことで、化石燃料を代替するカーボンニュートラルな燃料として利用拡大が期待されています。

2. 実証実験の内容

実証実験では、既存燃料(軽油)にバイオ燃料を約25%混合した燃料を使用して試験航行を行い、エンジンへの影響の有無等を調査します。

3. 試験航行の期間

令和6年8月13日～令和6年10月頃まで

4. 使用するバイオ燃料

廃食油から製造されたバイオディーゼル燃料

【廃食油とバイオディーゼル燃料】



5. 実証実験の委託事業者

豊田通商株式会社（名古屋市）



【お問い合わせ先】

港湾空港局 計画課 担当：吉岡、寺戸
電話：092-282-7127